

習志野市教育委員会会議録
(平成21年第1回定例会)

- 1 期 日 平成21年1月28日(水)
習志野市教育委員会事務局大会議室
開会時刻 午後3時00分
閉会時刻 午後3時55分
- 2 出席委員
- | | | |
|------|---------|--|
| 委員 長 | 青 木 克 己 | |
| 委 員 | 澤 村 洋 子 | |
| 委 員 | 栗 原 伸 夫 | |
| 委 員 | 鈴 木 大 地 | |
| 委 員 | 植 松 榮 人 | |
- 3 出席職員
- | | | |
|----------------|-----------|--|
| 教育総務部長 | 平 賀 潤 | |
| 学校教育部長 | 三 幣 芳 夫 | |
| 生涯学習部長 | 加 藤 清 一 | |
| 学校教育部参事 | 鶴 岡 智 | |
| 学校教育部参事 | 渡 辺 伸 治 | |
| 生涯学習部次長 | 松 林 正 則 | |
| 教育総務部副技監 | 鈴 木 知 行 | |
| 教育総務部・学校教育部副技監 | 勝 見 博 | |
| 学校教育部副参事 | 諏 訪 晴 信 | |
| 学校教育部副参事 | 押 田 俊 介 | |
| 学校教育部副参事 | 木 原 誠 | |
| 生涯学習部副参事 | 鈴 木 善 博 | |
| 生涯学習部副参事 | 長谷川 隆 | |
| 生涯学習部副参事 | 黒 崎 清 | |
| 企画管理課長 | 井 澤 元 行 | |
| 指導課長 | 若 崎 光 美 | |
| 社会教育課長 | 早 瀬 登 美 雄 | |
| 教育総務部主幹 | 福 山 宗 起 | |
| 教育総務部主幹 | 佐々木 重 春 | |
| 教育総務部主幹 | 宮 崎 雅 博 | |
| 教育総務部・学校教育部主幹 | 鈴 木 博 | |
| 学校教育部主幹 | 高 柳 英 昭 | |
| 学校教育部主幹 | 櫻 井 克 美 | |
| 生涯学習部主幹 | 及 川 隆 志 | |
| 生涯学習部主幹 | 星 昌 幸 | |
| 生涯学習部主幹 | 寄 主 義 之 | |

4 会議内容

委員長が

平成21年習志野市教育委員会第1回定例会の開会を宣言

委員長が

会議規則第15条の規定により、報告事項(2)並びに議案第1号及び議案第2号を非公開とすることについて諮り、全員異議なく非公開と決定された。

委員長が

本日の日程について諮り、報告事項(2)並びに議案第1号及び議案第2号を協議事項の後に審議することについて諮り、全員異議なく提案どおり決定された。

委員長が

平成20年第12回定例会の会議録について承認を求め、全員異議なく承認された。

報告事項(1) 平成20年習志野市議会第4回定例会一般質問について

(企画管理課)

企画管理課長が

平成20年習志野市議会第4回定例会一般質問(教育委員会分)について、その概要を報告

委員が

英語教育のあり方について、研修や公開研究会を実施し、小学校の全教員が英語の授業をできるようにするとあるが、県教育委員会のプログラムはないのか、と質問

指導課長が

県においても英語主任を対象とした研修を予定しているが、来年度から初めて小学校5、6年に英語活動が導入されることから、県の施策と併せ、市独自に研修計画を策定した、と回答

委員が

本市の英語教育は、県と市の二階建てで行うという理解でよいか、と質問

指導課長が

そのとおりである、と回答

委員が

学校図書廃棄基準は、と質問

学校教育部長が

市として大きな学校図書の廃棄基準を設けてある。各校の図書の配置状況から新たに購入したり、使用に耐えなくなった場合に廃棄したりしている、と回答

委員が

親学とはどのようなものか、と質問

社会教育課長が

教育基本法第10条に「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有し、地方公共団体は、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない」と明記されている。核家族化が進む中で、同じような悩みを抱える子育て中の親に対し、情報交換や学習の場を提供するPTA家庭教育学級等を各公民館で開催している。今後も、PTAや親が主催する事業を支援する形で取組んでいきたい、と回答

委員が

こども園整備と既存市立幼稚園及び市立保育所の再編素案策定の背景の一つとして、「子どもの発達に必要な規模の集団が確保できないこと」が挙げられているが、具体的な集団の規模はどのように考えているのか、と質問

学校教育部参事が

適正規模に関する明確な規定はない。大規模園にしても小規模園にしても双方にメリット・デメリットがある。ただ、集団の中で培われる社会性は、多くの友達との遊びの中から身についていく。しかし、本市の幼稚園では、1クラスが20人に満たない園や1学年1クラスで編制されている園もある。このような現状では、子ども同士の遊びによって心を育てる幼児教育が適切に出来ないのではないかと認識している、と回答

委員が

多様化したサービスの必要性が高まってきたことも再編素案策定の背景の一つとして挙げられているが、もっと具体的な表現の方がいいのではないかと質問

学校教育部参事が

本市の保育サービス体制では時間外保育はできているが、保育時間の延長の他に、近年の核家族化や女性の社会進出、就労形態の多様化により、日曜・祝日保育や病児・病後児保育など様々なニーズに対応した特別な保育が求められている。職種によっては、仕事を休むことの出来ない保護者は辞めざるを得ない状況にあり、また、経済的な負担もある。このような背景を多様なサービスの必要性と捉えながら、子どもを不安や負担なく育てていくことができる体制を整えていきたい、と回答

委員が

保護者のニーズを全て満たすことは限界があることを示す必要もある。民間とうまく住み分けながら子育て支援を推進していただきたい、と要望

委員が

小中学校で合計7千冊以上の学校図書を廃棄したとあるが、この全てを廃棄しているのか、または、二次的な利用はあるのか、と質問

指導課長が

全てを廃棄しているわけではなく、学級文庫という形で活用している、と回答

委員長が他に質疑なしと認め、報告事項（1）は了承された。

協議第1号 次回教育委員会の期日について協議し、平成21年2月25日（水）午後3時に決定された。

<報告事項（2）並びに議案第1号及び議案第2号は非公開>

報告事項（2） 学校給食費について

（学校教育課）

学校教育部副参事が

学校給食費について概要を報告

質疑の後、委員長が他に質疑なしと認め、報告事項（2）は了承された。

議案第1号 習志野市育英資金給与条例の一部を改正する条例の制定について

（学校教育課）

学校教育部副参事が

習志野市育英資金給与条例の一部を改正する条例の制定について概要を説明

質疑の後、委員長が他に質疑なしと認め、採決の結果、議案第1号は原案どおり可決された。

議案第2号 習志野市立習志野高等学校定時制の課程の生徒募集について

（学校教育課）

学校教育部副参事が

習志野市立習志野高等学校定時制の課程の生徒募集について概要を説明

委員長が質疑なしと認め、採決の結果、議案第2号は原案どおり可決された。

委員長が

平成21年習志野市教育委員会第1回定例会の閉会を宣言